

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月15日

配布数 5

回収数 5

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール枚方長屋

	チェック項目	割合(%)			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ	無回答		
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80.0%	20.0%	0.0%	利用人数や状況に応じて、適宜対応しています。	
	2 職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%	0.0%	法令に定められた人数を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100.0%	0.0%	0.0%	シンプルな構造で、バリアフリー化も行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100.0%	0.0%	0.0%	空調、加湿、清掃等で、環境整備を行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	60.0%	0.0%	40.0%	業務改善にかかる会議を月に一度は、開催しています。必要があれば、随時、報告を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	40.0%	0.0%	60.0%		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	20.0%	0.0%	80.0%	事業所単位の結果を踏まえて、本社で取りまとめ、情報公表を行う予定です。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	0.0%	系列校での入念なOJT研修を行うだけでなく、外部研修にも積極的な参加に取り組んで参ります。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	80.0%	0.0%	20.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60.0%	0.0%	40.0%	所定の書式を使用し、標準化に努めています。	
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	40.0%	0.0%	60.0%	個別支援計画で、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」の項目ごとに、取り組んでまいります。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	60.0%	0.0%	40.0%	児童発達支援計画(個別支援計画)に沿ったプログラムに努めています。	
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	100.0%	0.0%	0.0%		
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	0.0%		
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	60.0%	0.0%	40.0%	児童の成長状況を考慮して、計画しています。	
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	0.0%		
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	0.0%		
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	0.0%			
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	80.0%	0.0%	20.0%	ガイドラインに沿った半年ごとのモニタリングを行うだけでなく、状況に応じて、努めてまいります。		
関係機	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0.0%	20.0%	80.0%		現在、相談支援事業所を通じての利用がないので、参画していませんが、状況に応じて、参画してまいります。
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0.0%	20.0%	80.0%		状況に応じて、連携してまいります。
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0.0%	20.0%	80.0%		利用者からの要望に合わせて、連携先との情報共有及び連携してまいります。

関 や 保 護 者 と の 連 携	23	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0.0%	20.0%	80.0%		
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40.0%	0.0%	60.0%		専門研修機関を通じて、実施打診しています。
	25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	20.0%	0.0%	80.0%		地域の活動状況を調べて、参加していきます。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	0.0%	日々のセッション後にカンファレンスを毎回実施しています。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	60.0%	0.0%	40.0%	入念に実施しています。	
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	40.0%	0.0%	60.0%	丁寧なアセスメント、説明を行い、保護者から同意を得ています。	
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	60.0%	20.0%	20.0%		
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	40.0%	0.0%	60.0%		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	60.0%	0.0%	40.0%		
	32	個人情報の取扱いに十分注意している	80.0%	0.0%	20.0%		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80.0%	0.0%	20.0%	合理的配慮を実施しています。	
非 常 時 等 の 対 応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	40.0%	0.0%	60.0%		マニュアルについては社外秘となっているため、公表の予定は御座いません。年2回の避難訓練を実施していきます。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	40.0%	0.0%	60.0%	3月と9月に実施予定です。	
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	40.0%	0.0%	60.0%	事前にアセスメントを行い、把握しています。	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	60.0%	0.0%	40.0%		
38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	40.0%	0.0%	60.0%		毎年定期的に会社主催の研修があり、今後受講予定です。	